

# 一般質問

3月定例会



内藤 真一議員

## 地方創生の今後の施策を問う

### Q 頓原町民プール活用は

町長は「健康なまちづくり」を提唱している。町民の健康づくりに頓原の町民プールを温水化してはどうか。

- ① 健康維持に役立つ
- ② 薪ボイラー使用で町内産木材の有効活用
- ③ プールの通年利用ができる
- ④ 町営バス利用増とプール利用料収入が見込める
- ⑤ プールの温水利用で除雪ができるなどがある。

地方創生事業での設備活用、産業創出と住民交流、健康なまちづくりに活用できるのではないか。



頓原町民プール

### Q 旧来島町民プールの活用は

本町は「生命地域宣言」をアピールし、きれいな水と環境は整っている。きれいな水をお魚を養殖するなど、旧来島町民プールを再生させ、眠っている設備の活用を考えてはどうか。

### A 計画変更は考えてない

町長 山崎英樹

このプールは使用停止して年月が経過し、危険性・景観も考えて保育所駐車場等への転換を計画していたが、進入路が緊急防災減債事業として認められず、工事を先送りしていた。

眠っている設備等の活用は大切だが、過去にヤマメ養殖を廃止した例もあり、検討が必要だ。

### Q 利用の少ない町有財産の活用は

農産物加工施設や農林会館等設置当時の目的や計画は問題ないが、現実的には利用が減っている。

設備を地方創生事業で、本町の産業創出拠点としてさらなる収益増につながるよう、改善・改良に知恵を絞ってみてはどうか。

### A 施設有効活用に取組みたい

町長 山崎英樹

施設・町有財産の有効活用は長年の課題だ。このたび地方創生先行型予算で、ビジネスコンテナストを実施する準備経費を計上している。他の自治体の例も研究し、本町の手法を検討したい。

活用の少ない施設・遊休施設を舞台に、ビジネス提案も含めて本町の施設が有効活用されるよう知恵を絞りたい。



## 町の人口増加への取組み

### Q 定住対策の推進を

定住対策の効果で、一定期間人口の増加があったが、ここにごきて逆もどりの状況にある。さらなる定住を推進すべきと思うが、次のポイントを問う。

- ① 定住対策を進めるには任期付職員を採用する条例を適用し、選任職員を配置しては。
- ② 昨年人口対策本部を設置したが、具体的取り組みは今後決めるとある。検討の状況は。
- ③ U・Iターンの推進で人口増の効果があれば、農業を目指す後継者の確保と農林業振興などにつながる。それには働き場の確保が急務だと思ふ。

### A 専任職員を検討

町長 山崎英樹

- ① 定住対策には、人的体制が必要だ。一定期間、専任職員の配置を検討する。
- ② 国の地方創生交付金を活用したプレミアム付商品券、子育て支援、町外の集客をはかる商品券発行のほか、10項目の事業がある。



### Q 各会計の滞納整理は

未収金は年々増加傾向にある。住民負担の公平性をもとに滞納整理の方針を問う。

平成25年度末の未収金は793.5万円だが、各会計の収納の取り組みと今後の整理はどのように取り組むのか。

また、住宅新築資金等貸付事業より引き継いだ未収金は338.7万円もあるが、これらの未収金整理に専門職員を雇用する考えはないか。

### A 税務経験者雇用で対応

町長 山崎英樹

任期付職員を雇用する条例を適用し、税務に経験のある者を2年程度雇用し対応する。

### A 強い決意で整理

副町長 西村秀樹

滞納対策本部では、債務者の情報共有と、徴収方針として現年度分の未収を少なくすることを徹底し行っている。過年度分は、債務者ごとに債権を整理し、文書、電話での催告、戸別訪問を実施している。

今後、滞納税については差し押さえ、水道の給水停止、住宅料は連帯保証人への請求等徴収に努める。町内在住者については、個別折衝している。また、対象者と保証人に死亡確認があり、相続人調査などに相当困難な面もあるが、引き続き努力する。

# 一般質問

3月定例会



永井 章 議員

用したプレミアム付商品券、子育て支援、町外の集客をはかる商品券発行のほか、10項目の事業がある。今後、5力年間の総合戦略と人口ビジョンを策定する。③ 農業を含めた人材確保として、半農半建設業、半農半福祉などの具体的な仕事イメージの提案を検討している。また、資格を有した人材確保のため、従業員の技術習得、資格取得の経費支援、町外への通勤助成等を考えている。

滞納対策本部では、債務者の情報共有と、徴収方針として現年度分の未収を少なくすることを徹底し行っている。過年度分は、債務者ごとに債権を整理し、文書、電話での催告、戸別訪問を実施している。

# 一般質問

3月定例会



内藤 真一議員

## 地方創生の今後の施策を問う

### Q 頓原町民プール活用は

町長は「健康なまちづくり」を提唱している。町民の健康づくりに頓原の町民プールを温水化してはどうか。

- ① 健康維持に役立つ
- ② 薪ボイラー使用で町内産木材の有効活用
- ③ プールの通年利用ができる
- ④ 町営バス利用増とプール利用料収入が見込める
- ⑤ プールの温水利用で除雪ができるなどがある。

地方創生事業での設備活用、産業創出と住民交流、健康なまちづくりに活用できるのではないか。



頓原町民プール

### Q 旧来島町民プールの活用は

本町は「生命地域宣言」をアピールし、きれいな水と環境は整っている。きれいな水をお魚を養殖するなど、旧来島町民プールを再生させ、眠っている設備の活用を考えてはどうか。

### A 計画変更は考えてない

町長 山崎英樹

このプールは使用停止して年月が経過し、危険性・景観も考えて保育所駐車場等への転換を計画していたが、進入路が緊急防災減債事業として認められず、工事を先送りしていた。

眠っている設備等の活用は大切だが、過去にヤマメ養殖を廃止した例もあり、検討が必要だ。

### Q 利用の少ない町有財産の活用は

農産物加工施設や農林会館等設置当時の目的や計画は問題ないが、現実的には利用が減っている。

設備を地方創生事業で、本町の産業創出拠点としてさらなる収益増につながるよう、改善・改良に知恵を絞ってみてはどうか。

### A 施設有効活用に取組みたい

町長 山崎英樹

施設・町有財産の有効活用は長年の課題だ。このたび地方創生先行型予算で、ビジネスコンテナストを実施する準備経費を計上している。他の自治体の例も研究し、本町の手法を検討したい。

活用の少ない施設・遊休施設を舞台に、ビジネス提案も含めて本町の施設が有効活用されるよう知恵を絞りたい。